

IV 幼児教育

1 幼稚園教育指針

『元気いっぱい 友だちいっぱい 楽しい幼稚園』をめざして

国際化、高度情報化、少子高齢化・・・など、社会は急速に変化し続けています。これからの時代を、自立した人間として多様な他者と協働しながら創造的に生きていくための資質・能力の育成が、重要な課題となってきました。とりわけ幼児期は、心情、意欲、態度、基本的な生活習慣など、人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期であり、子どもたち一人ひとりに、心豊かでたくましく生きる力の基礎を育んでいくことが不可欠です。

こうしたことから、本市の幼稚園では、質の高い幼児教育の実践に努め、幼保連携・公私連携の中核を担うセンター的役割を果たすため、大きく3つの機能を大切にしています。

■ 研究実践機能

研修や研究の場として良質な幼児教育を発信すると同時に、指導力の向上を図り、幼児が主体的に活動し、互いに個性を認め合い育ち合う学級経営や教育課程等の情報提供を行い、幼児教育の質の向上を図ります。

■ 特別支援教育機能

ありのままの姿を認め、一人ひとりに応じた指導方法を明らかにし、保護者との連携を図りながら、インクルーシブ教育の推進を図ります。

■ 子育て支援機能

保護者同士をつなぐ機会や家庭教育学級の充実を図り、家庭の教育力の向上に努め、未就園児の保護者に対しては、遊びの場を提供したり、子育て相談の機会をつくったり、保健師等の外部機関とのネットワークを活用したりするなど、子育てを支援し、地域と園との連携を図ります。

本年度は、主体的な遊びや体験を通して、友だちとかかわる中で友だちのよさや、自分のよさを見つけたり、様々な出来事や自然に感動し、「感じたこと」「思ったこと」を言葉で伝え合い、考えたり工夫したり、身体を使って表現したりすることができる子を育てていきます。また、こうした中で、身近な環境に積極的にかかわる力や健康で安全な生活を自らつくり出す力を養うとともに、自立心を育み、協同の態度や道徳性の芽生えを培っていきます。

また、コミュニティ・スクールの機能を生かし、地域の様々な人々との交流の機会を通し、豊かな体験に結び付くようにしていきます。

『元気いっぱい 友だちいっぱい楽しい幼稚園』を具現するために、願う子どもの姿を「自分みつけ、よさみつけをすすめ、共に楽しく生活する幼児」とし、幼稚園教育の3つの目標を示します。

- 《経 営》 全教職員や地域コミュニティとの協働のもと、園の特色を生かした活力ある幼稚園経営
- 《指 導》 幼児相互のかかわりや身近な環境とのかかわりを通して、心身の調和のとれた発達の基礎を
培い、学びに向かう力（非認知能力）を育む指導
- 《研 修》 人間性を磨き、教師としての資質・能力を高める意図的・計画的な研修

各幼稚園にあっては、この目標を自園の教育の重点課題にそって具体化するとともに、遊びや体験を通じた総合的な指導を通じ、“自分みつけ”“よさみつけ”の実現を基盤とし、学びに向かう力（非認知能力）の育成をめざします。

その際には、全教職員が参画する組織的な園運営をP D C Aのサイクルで行い、幼児の願う姿に立ち返って教育活動を継続的に見届け、その成果を明らかにするとともに、保護者や地域の声を真摯に受け止め、願いの共有化を図りながら「元気いっぱい 友だちいっぱい 楽しい幼稚園」を具現します。

実際の教育活動に当たっては次の6点に配慮して、日々の実践を積み上げます。

- 幼児の園生活の安全を確保し、一人ひとりのもち味が十分に発揮できる環境づくりに努める。
- 自然やいろいろなもの、人とかかわる遊びや体験の中で、楽しさや喜びを味わい、自分の思いを言葉で伝え合う力や道徳性の芽生えを培う。
- 全教職員の協力・支援体制を高め、温かい雰囲気の中で、見通しをもったきめ細かな保育の工夫をする。
- 保護者や地域コミュニティとの連携を図り、幼児理解を深めたり、幼児の育ちを喜び合ったりして、保護者の子育てを支援する。
- 幼稚園や保育所・認定こども園・小学校、家庭や地域社会、関係諸機関との綿密な連携を積極的に図り、地域に根付いた特色ある幼稚園づくりを推進する。
- 質の高い教育と保育の総合的な提供をめざす認定こども園の調査・研究を進める。

2 園児数及び教職員数

市立幼稚園児数

(令和3年5月1日現在)

区分 幼稚園名	3歳児		4歳児		5歳児		総計			
	園児数	学級数	園児数	学級数	園児数	学級数	男	女	計	学級数
加納幼稚園	25	2	30	2	46	2	53	48	101	6
岐阜東幼稚園	9	1	13	1	18	1	18	22	40	3

市立幼稚園教職員数

(令和3年5月1日現在)

区分 幼稚園名	市費職員												総計			
	園長		教頭		教諭		養護教諭		調理員		校務員他		男	女	計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
加納幼稚園		1		1		6		1			②	①		①	②	③
岐阜東幼稚園		1		1	1	2		1			②	①		①	②	③

※ 囲み数字は、会計年度任用職員の数を示し、それぞれ外数とします。

市内の幼稚園在園児数

(令和3年5月1日現在)

	3歳児	4歳児	5歳児	男	女	合計	教職員数
市立2園合計	34	43	64	71	70	141	15
私立32園合計	1,914	1,971	2,060	3,013	2,932	5,945	639
総計	1,948	2,014	2,124	3,084	3,002	6,086	654

3 事業

幼小パートナーシップ協議会

本市では、オール岐阜で、子どもたちの学びに向かう力の芽生えと育ちを支えることを目的に掲げ、幼小の接続や家庭教育の応援に取り組んでいます。その一環として、幼児教育施設(幼稚園、保育園(所)、認定こども園など)と小学校との連携・接続に関する具体的な方策などについて、各団体の代表者が意見を交換するための協議会を設置しました。(令和元年度 幼小接続協議会を改称)令和2年度は、3回開催しました。

幼小合同研修会

幼稚園・保育園(所)・認定こども園の3歳児から5歳児については、いずれの施設であっても制度として認められた幼児教育であるため、研修の在り方についても、幼稚園等と小学校の合同で実施しています。合同で開催することにより、参加者相互の交流も生まれ、お互いの教育・保育を理解することにつながっています。令和2年度は、2回開催しました。

■ 子育て学びフィールド

家庭教育は、全ての教育の出発点であり、子どもが基本的な生活習慣や生活能力、他人に対する思いやり、社会的なマナーなどを身に付ける上で重要な役割を果たすことから、本市の施策の柱のひとつとして、家庭教育の応援に取り組んでいます。その一環として、保護者などに向けて、子どもの育ちを支えるための情報を発信する、幼児教育セミナーや、親子で遊びを通して、家庭教育への興味・関心・知識を深める、わくわく親子セミナーを開催しています。

■ のびのび育てぎふっ子

平成27年度に、私立幼稚園や公立幼稚園の代表者や学識経験者等を交えて立ち上げた「就学前教育プログラム検討委員会」の議論を踏まえ、就学前に身に付けてほしい力を簡潔に記した「のびのび育てぎふっ子」を策定し、新入園児の保護者や、乳幼児健診対象の保護者に配布しています。

